

引用文献

- 明石恵. (2017). 周術期看護 / 明石恵子編集. メヂカルフレンド社.
- ASSISRANCE PUBLIQUE HOPITAL DE PARIS. (2016). Présence au travail. APHP. https://www.sud-sante-aphp.fr/docs/APHP_Memento_RH_Tome1.pdf[2023 年 1 月 30 日アクセス]
- Dawson, D., & Reid, K. (1997). Fatigue, alcohol and performance impairment. *Nature (London)*, 388(6639), 235. <https://10.1038/40775>
- Folkard, S., & Tucker, P. (2003). Shift work, safety and productivity. *Occupational Medicine (Oxford)*, 53(2), 95-101. <https://10.1093/occmed/kqg047>
- 藤田亜希, 大井川陽子. (2006). 病棟看護師によって理解されている手術看護の特性 手術室看護師と比較して. 福島労災病院医誌, (9), 52-56. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2008151461>
- 福田早織, 檜山明子, 村松真澄, 樋之津淳子, 中村 恵子. (2021). 手術看護における経験年数別の看護実践に関する実態調査. 日本看護管理学会誌, 25(1), 108-117. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2022112927>
- 古家仁, 稲田英一, 森崎浩, 西脇公俊. (2018). 標準麻酔科学 / 稲田英一, 森崎浩, 西脇公俊編集 (第 7 版 ed.). 医学書院.
- Härmä, M., Shiri, R., Ervasti, J., Karhula, K., Turunen, J., Koskinen, A., Ropponen, A., & Sallinen, M. (2022). National recommendations for shift scheduling in healthcare: A 5-year prospective cohort study on working hour characteristics. *International Journal of Nursing Studies*, 134, 104321. <https://10.1016/j.ijnurstu.2022.104321>
- 長谷川友美, 松田ゆう子, 浜野友紀子, 南川佳菜, 山崎加代子. (2011). 術中急変時における外回り看護師の看護判断. 日本手術看護学会誌, 7(1), 70-73. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2012087886>
- 林有学, 米山京子. (2008). 看護師におけるキャリア形成およびそれに影響を及ぼす要因. 日本看護科学会誌, 28(1), 12-20. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2008190039>
- 加藤明子. (2019). 訪問看護ステーションの労務管理. 日本看護協会出版会.
- 川崎広子, 濱田 智子. (2006). 二交替制勤務導入による時間外勤務時間縮減の効果と今後の課題. 日本手術医学会誌, 27(2), 126-129. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2006314139>

- Kenyon, T. A. G., Gluesing, R. E., White, K. Y., Dunkel, W. L., & Burlingame, B. L. (2007). On Call: Alert or Unsafe? A Report of the AORN On-Call Electronic Task Force. *AORN Journal*, 86(4), 630-639. <https://10.1016/j.aorn.2007.06.020>
- 菊地由紀子, 石井範子. (2015). 女性看護師の疲労の自覚症状と勤務の関係. *Sangyō Eiseigaku Zasshi*, 57(5), 230-240. <https://10.1539/sangyoeisei.E14005>
- 木村三香, 大鐘隆宏, 濱田和代, 藤本陽子, 久保田由美子, 菊地京子. (2010). 第4回日本手術看護学会会員実態調査の結果と分析. *日本手術看護学会誌*, 6(1), 68-94. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2011020405>.
- 厚生労働省. (2011). 平成 23 年(2011)医療施設（静態・動態）調査・病院報告の概況. 厚生労働省. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/11/dl/1-3.pdf> [2022 年 3 月 17 日アクセス]
- 厚生労働省. (2014). 平成 26 年(2014)医療施設（静態・動態）調査・病院報告の概況. 厚生労働省. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/14/dl/1-3.pdf> [2022 年 3 月 17 日アクセス]
- 厚生労働省. (2017a). 平成 29 年(2017)医療施設（静態・動態）調査・病院報告の概要. 厚生労働省. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/17/dl/02sisetu29-3.pdf> [2022 年 3 月 17 日アクセス]
- 厚生労働省. (2017b). 労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン. 厚生労働省. <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11200000-Roudoukijunkyoku/0000149439.pdf> [2022 年 4 月 19 日アクセス]
- 厚生労働省.(2021).医師の働き方改革について.厚生労働省. <https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000818136.pdf>[2023 年 1 月 29 日アクセス]
- 厚生労働省.(2022).地域医療構想、医療計画について 令和 3 年度 第 2 回医療政策研修会及び地域医療構想アドバイザー会議.厚生労働省. <https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000884775.pdf> [2023 年 2 月 26 日アクセス]
- 厚生労働省. (n.d.). 宿日直許可申請に関する解説資料（参考事例）. 厚生労働省. https://iryou-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/outline/pdf/20210720_02.pdf [2022 年 4 月 19 日]
- 厚生労働省労働基準局長通達. (2019). 医師、看護師等の宿日直許可基準について（令和 1 年 7 月 1 日基発 0701 第 8 号）. 厚生労働省. https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=0Otc6286&dataType=1&pageNo=1 [2022 年 4 月 19 日アクセス]

- 草柳かほる, 山口紀子, 峯川美弥子. (2018). 手術看護: 術前術後をつなげる術中看護(第2版 ed.). 医歯薬出版.
- 前田浩. (2019). 手術室の夜間勤務と手術室看護師の疲労・睡眠との関係[未発表の修士論文]. 聖路加国際大学.
- 南崎智穂. (2013). 急患手術の中で手術室看護師が不安を抱く要因 時間外での対応を通して リーダーの立場から. 福岡赤十字看護研究会集録, (27), 33-37.
<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2013209402>
- NHS Employers. (2021a). NHS Terms and Conditions of Service Handbook . <https://www.nhsemployers.org/publications/tchandbook>[2022年3月17日アクセス]
- NHS Employers .(2021b). On-call implementation guidance. https://www.nhsemployers.org/sites/default/files/2021-06/On-call-implementation.pdf?_x_tr_sl=en&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=wapp[2023年1月30日アクセス]
- 中村貴子. (2017). 手術室看護師が Expert Nurse に至る過程で自己の成長に繋がったと考える経験に関する一考察. 日本看護学会論文集: 急性期看護, (47), 31-34.
<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2017146956>
- 中村 裕美, 白鳥孝子. (2016). 術前訪問における手術室看護師の患者擁護実践. 日本赤十字豊田看護大学紀要, 11(1), 63-71. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2016250973>
- 奈良地方裁判所. (2015). 平成 22(行ウ)22 時間外手当等請求事件. 裁判所. https://www.courts.go.jp/app/files/hanrei_jp/922/084922_hanrei.pdf [2022年3月17日アクセス]
- 日本看護協会. (2013). 看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン: 資料付き. 日本看護協会.
- 日本麻酔科学会・周術期管理チーム委員会(編). (2020). 周術期管理チームテキスト第4版. 公益社団法人 日本麻酔科学会.
- 日本手術医療学会. (2019). 手術医療の実践ガイドライン (改訂第3版) [日本手術医療学会]. <http://jaom.kenkyuukai.jp/images/sys/information/20210616135951-48BD57DC717273CD728785686C6592D9FF323FBF97D4BAC7ECA952EB16C01D2B.pdf> [2022年3月17日アクセス]
- 日本手術看護学会. (2020). 手術室看護師の「臨床実践能力の習熟度段階」 (クリニカルリーダー) 2020年改訂版. 日本手術看護学会.

- 大鐘隆宏, 木村三香, 石原百合子, 菊地京子, 石橋まゆみ. (2015). 第 5 回日本手術看護学会会員実態調査結果とその分析. 日本手術看護学会誌, 11(1), 74-98.
- 大西敏美, 名越民江, 南妙子. (2009). 手術室看護師が定着するまでのプロセスに関する研究. 香川大学看護学雑誌, 13(1), 1-12. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2009172646>
- 労働次官通達. (1947). 労働基準法の施行に関する件 (昭和 22 年 9 月 13 日発基第 17 号) . 厚生労働省. https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00tb1896&dataType=1&pageNo=1[2022 年 4 月 19 日アクセス]
- 最高裁判所. (2000). 賃金請求事件. 裁判所. https://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/detail2?id=525721[2022 年 4 月 19 日アクセス]
- 坂上和芳. (2018). 働きやすい職場をつくる医療現場の労務管理. 秀和システム.
- 酒井一博, 毛利一平, 奥村元子, 小川忍. (2011). 日本看護協会「時間外労働および夜勤・交代制勤務に関する実態調査」の自由意見欄に記載された看護師の労働・生活条件に関する訴えと改善要求. 労働科学, 87(3), 99-115. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2011314087>
- 坂本珠代. (2015). ナラティブレポートから見出された手術のプロセスにおける看護師の心理の特徴. 日本手術看護学会誌, 11(1), 32-36. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2016006593>
- 多田貴志, 三ツ井圭子, 田中初枝, 眞鍋 知子. (2018). 手術室見学実習を通して学生が捉えた手術室看護師の役割. 了徳寺大学研究紀要, (12), 99-103. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2018307949>
- 高橋正也, 久保智英, 井澤修平, 三木圭一, 原谷隆史, 土屋政雄, 倉林るみい, 島津明人, 田中克俊, 池田大樹. (2018). 勤務間インターバルと疲労回復に関する縦断研究. 労働安全衛生総合研究所特別研究報告, (48), 19-24. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2019237352>
- 田村裕, 古田裕子, 上村遥奈, 柴田政樹, 山本幸宏, 井上紗. (2017). 裁判例を踏まえた病院・診療所の労務トラブル解決の実務. 日本法令.
- The Association of periOperative Registered Nurses. (2021). AORN Position Statement on Perioperative Safe Staffing and On - Call Practices. AORN Journal, 114(6), 597-608. <https://10.1002/aorn.13536>
- The International Agency for Research on Cancer, (IARC). (2020). Night Shift Work IARC Monographs on the Identification of Carcinogenic Hazards to Humans Volume 124. International

Agency for Research on Cancer. file:///C:/Users/SLIU_User/Downloads/mono124%20(1).pdf
[2023 年 1 月 29 日アクセス]

- Trinkoff, A. M., Le, R., Geiger-Brown, J., Lipscomb, J., & Lang, G. (2006). Longitudinal relationship of work hours, mandatory overtime, and on-call to musculoskeletal problems in nurses. *American Journal of Industrial Medicine*, 49(11), 964-971. <https://10.1002/ajim.20330>
- 上原さゆり, 藤澤美裕紀, 岸田紘子, 田宮麻結. (2019). 病棟看護師の手術終了後における手術室内での申し送りに対する思い. *日本看護学会論文集: 急性期看護*, (49), 218-221. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2019214897>
- 上野正文, 日本手術看護学会. (2013). 日本手術看護学会による手術室看護要員算定調査報告. *日本手術医学会誌*, 34(4), 314-322.